



西浦公民館の主な行事は、7月の文化祭に始まり、納涼まつり、敬老会、町民体育祭、正月の公民館まつり、子ども会のスポーツ大会、花壇コンクールがあります。

関係活動として、小学校5・6年生と中学生が一緒になって行う『はあとぶろじえくと』活動があります。活動の内容は、お年寄りの要望により、お宅訪問をして清掃、草取り、ガラスふきなどの作業をしながら昔の町の様子や生活の話をしてもらう。地区会館・集会場にお年寄りにきてもらい、そこでお話をしたり一緒にゲームなどをして楽しんでもらう。このような活動を通して、「地域のつながりをよらいっそう強くする」「生き方について学ぶ」「思いやりの心

を身につける」というもので児童・生徒たちはこの活動から多くのことを学んでいます。

町民体育祭は、今年で47回目となり、長年続いている町民行事となっております。種目も入園前の幼児から老人まであらゆる人が参加できるようにするため、関係委員が会議を重ねて決めています。参加者は選手も含めて2千500人以上で実に町民の3分の1以上が参加しており、地域の人々の親睦の場となっております。

公民館まつりは、正月の1日・2日の2日間で公民館教室・クラブ、保育園児、小・中学生・一般の方の約千点の作品を展示します。展示した作品からは、物を作り上げようと一生懸命に取り組み、完成した自分の作品を愛する思いが感じられる作品ばかりです。来館した人も素晴らしいの一言です。

これも地域と一体となり、地域に密着した公民館となるようにしたいと思います。



はあとぶろじえくと



プロシユートボクサー(スプラッシュ所属)

磯部 心選手(竹谷町)

■まずシユートボクシングと、その魅力について教えてください。キックボクシングの技に、投げ技と立った状態での関節技が認められた格闘技で、いろいろな戦術、テクニクが使えるところがおもしろくて魅力です。

■シユートボクシングとの出会いは
幼少時代から空手を習っていて、キックボクシング空手の大会で知り合ったプロ選手の方に誘われ、現在の所属ジムに移籍したことがきっかけです。

■シユートボクシングでの成績は
昨年の10月に初戦を迎えアマチュア初勝利をあげました。2戦目は12月に行われたアマチュアシユートボクシングトーナメントで、2試合連続KO勝ちし、プロ認定されました。

シユートボクシングの新星「祝・デビュー戦KO勝利」

デビュー戦では、2ラウンドKO勝ちし、最優秀新人賞をダブル受賞しました。

■目標とする格闘家は
所属ジムの木部亮会長です。木部会長は総合格闘家で、中部を代表するトップ格闘家です。

■シユートボクシングでの夢と今後の目標は
ゆくゆくはタイトルマッチに出場し、チャンピオンベルトを狙える位置までいきたいと日々練習に励んでいます。

■最後に、市民に一言
シユートボクシングの魅力は一人でも多くの人に知ってもらいたいのです。そのためにも、一つずつ勝ち星を積み重ねて、市民の皆さんに応援してもらえるように頑張ります。

